



平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場会社名 日東エフシー株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4033 URL http://www.nittofc.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)渡邊 要  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)武田 聡 (TEL)052-661-4381  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	4,001	△2.0	379	△21.9	957	54.3	591	44.9
24年9月期第1四半期	4,084	12.7	485	63.0	620	290.7	408	365.9

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 754百万円(89.5%) 24年9月期第1四半期 398百万円(327.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年9月期第1四半期	22	40	—	—
24年9月期第1四半期	15	27	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	43,246		37,910		87.7	
24年9月期	43,566		37,561		86.2	

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 37,910百万円 24年9月期 37,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
24年9月期	—	10 00	—	10 00	20 00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	10 00	—	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	8,200	△3.0	1,000	△6.6	1,050	△37.5	630	△40.4	24	01
通期	17,600	2.2	1,900	△11.5	2,000	△21.9	1,200	—	45	74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (―)、除外 一社 (―)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年9月期1Q	29,201,735株	24年9月期	29,201,735株
25年9月期1Q	2,967,220株	24年9月期	2,687,220株
25年9月期1Q	26,432,341株	24年9月期1Q	26,759,808株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要の下支えにより緩やかながら景気回復の兆しが見られたものの、欧州債務問題や新興国の景気減速、国内ではデフレ経済からの脱却の見通しが立たないなど、先行きの見通せない状況で推移いたしました。

肥料業界におきましては、肥料の国内需要は漸減傾向が続き、価格面では年2回肥料価格の改定を行う2期制の導入などにより農家は価格動向に敏感となっており、各社の競争は激化しております。

このような状況のもと、主力の肥料事業におきましては、顧客ニーズに対応した土壌分析や技術指導等の付加サービスを伴う営業活動を推進するとともに生産効率の改善や経費圧縮を図ってまいりました。

商社事業におきましては、国際市況と国内需要動向等を注視しつつ受注の拡大に努めてまいりました。

また、不動産賃貸事業におきましては所有している賃貸物件ごとの収益性や稼働率の向上を図り、その他事業ではホテル・運送・倉庫の各部門とも稼働率や顧客サービスの向上等により収益力の強化を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は40億1百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は3億79百万円（前年同期比21.9%減）、経常利益は9億57百万円（前年同期比54.3%増）、四半期純利益は5億91百万円（前年同期比44.9%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

## (肥料事業)

原価低減や経費圧縮に努めましたが、肥料価格の値上がりを見越した駆け込み需要のあった前期と比較し販売数量が減少したため、売上高24億66百万円（前年同期比14.1%減）、営業利益3億11百万円（前年同期比19.7%減）と減収減益となりました。

## (商社事業)

受注の拡大に努め増収を確保しましたが、国際市況の変動や為替水準の影響により原価率が上昇し、経費削減等に努めましたがこの影響を補いきれず、売上高11億73百万円（前年同期比42.8%増）、営業利益49百万円（前年同期比26.9%減）と増収減益となりました。

## (不動産賃貸事業)

賃貸物件ごとの稼働率向上に努め、売上高2億85百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益1億46百万円（前年同期比2.5%減）と概ね前期並の業績を確保しました。

## (その他事業)

売上高は前期を下回りましたが、経費削減等に努め収益は前期を上回って推移しました。その他事業全体では、売上高1億70百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益31百万円（前年同期比26.0%増）と減収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億20百万円減少し432億46百万円となりました。これは主に、有価証券が4億円、商品及び製品が8億54百万円、建物及び構築物が2億14百万円、土地が8億17百万円増加したことや、現金及び預金が26億円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6億69百万円減少し53億35百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億52百万円増加したことや、未払法人税等が4億91百万円、賞与引当金が1億4百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が3億26百万円、その他有価証券評価差額金が1億59百万円増加したことや、自己株式の取得により1億40百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億48百万円増加し379億10百万円となりました。この結果、自己資本比率は87.7%（前連結会計年度末86.2%）となりました。

利益剰余金の変動状況につきましては、四半期純利益の計上により5億91百万円増加し、配当金の支払いにより2億65百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ3億26百万円増加し225億97百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点においては概ね予定の範囲内で推移しており、平成24年11月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,103,280	6,503,183
受取手形及び売掛金	5,303,422	5,467,075
有価証券	1,999,727	2,399,981
商品及び製品	2,215,726	3,069,973
仕掛品	246,078	211,232
原材料及び貯蔵品	2,479,992	2,491,503
その他	461,166	334,427
貸倒引当金	△1,226	△60
流動資産合計	21,808,168	20,477,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,840,355	4,054,701
土地	11,850,867	12,668,480
その他(純額)	796,910	804,636
有形固定資産合計	16,488,133	17,527,817
無形固定資産		
	582,142	576,685
投資その他の資産		
投資有価証券	3,662,348	3,662,072
その他	1,027,496	1,004,041
貸倒引当金	△2,005	△1,880
投資その他の資産合計	4,687,839	4,664,234
固定資産合計	21,758,115	22,768,737
資産合計	43,566,284	43,246,053

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,806,809	2,059,464
短期借入金	—	69,264
未払法人税等	734,908	242,978
賞与引当金	217,733	113,154
役員賞与引当金	400	—
その他	1,508,162	1,112,758
流動負債合計	4,268,013	3,597,619
固定負債		
退職給付引当金	25,178	27,060
役員退職慰労引当金	203,331	199,902
その他	1,507,783	1,510,532
固定負債合計	1,736,293	1,737,495
負債合計	6,004,307	5,335,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,410,675	7,410,675
資本剰余金	9,100,755	9,100,755
利益剰余金	22,270,404	22,597,249
自己株式	△1,307,739	△1,448,299
株主資本合計	37,474,096	37,660,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,884	247,381
繰延ヘッジ損益	△4	3,177
その他の包括利益累計額合計	87,880	250,558
純資産合計	37,561,976	37,910,938
負債純資産合計	43,566,284	43,246,053



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,084,468	4,001,426
売上原価	3,094,166	3,106,377
売上総利益	990,301	895,048
販売費及び一般管理費	504,559	515,823
営業利益	485,742	379,225
営業外収益		
受取利息	8,061	5,821
受取配当金	16,628	14,956
持分法による投資利益	33,841	18,202
デリバティブ評価益	122,695	515,249
その他	18,920	48,827
営業外収益合計	200,147	603,055
営業外費用		
支払利息	10	43
為替差損	59,184	24,455
売上割引	237	89
その他	6,062	209
営業外費用合計	65,494	24,797
経常利益	620,396	957,484
特別利益		
固定資産売却益	134	—
特別利益合計	134	—
税金等調整前四半期純利益	620,530	957,484
法人税、住民税及び事業税	173,285	274,874
法人税等調整額	38,706	90,620
法人税等合計	211,991	365,494
少数株主損益調整前四半期純利益	408,539	591,989
四半期純利益	408,539	591,989

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	408,539	591,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,220	159,496
繰延ヘッジ損益	△2	3,181
その他の包括利益合計	△10,222	162,677
四半期包括利益	398,316	754,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	398,316	754,667

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	肥料事業	商社事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,870,286	812,078	265,661	3,948,026	136,441	4,084,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,353	22,749	32,103	43,094	75,197
計	2,870,286	821,432	288,410	3,980,129	179,536	4,159,665
セグメント利益	388,605	68,021	150,471	607,097	25,286	632,384

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	607,097
「その他」の区分の利益	25,286
セグメント間取引消去	3,874
のれんの償却額	△1,572
全社費用(注)	△150,447
その他の調整額	1,503
四半期連結損益計算書の営業利益	485,742

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	肥料事業	商社事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,465,617	1,135,891	262,617	3,864,126	137,300	4,001,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,360	37,221	22,737	61,318	32,780	94,099
計	2,466,977	1,173,112	285,354	3,925,444	170,080	4,095,525
セグメント利益	311,908	49,694	146,674	508,277	31,864	540,142

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	508,277
「その他」の区分の利益	31,864
セグメント間取引消去	3,973
全社費用(注)	△164,500
その他の調整額	△390
四半期連結損益計算書の営業利益	379,225

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。